生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	DPN チェックを用いた糖尿病神経障害の調査		
1. 研究の目的と方法	糖尿病神経障害は半数以上の患者で無症状のまま進行する「潜行性発症」と言われています。また、糖尿病神経障害で自律神経障害をきたすことは広く知られているが、実際にその診断の基準はガイドラインで制定されておらず、曖昧な部分が多いです。本研究では、糖尿病性末梢神経障害（DPN）の簡便・迅速・定量的な検査である DPN チェック（フクダコーリン）を用い、客観的に糖尿病末梢神経障害を評価します。そのうえで、糖尿病末梢神経障害と自律神経障害の合併・重症度を実臨床で調べることが目的です。DPN チェックを用い、客観的に糖尿病末梢神経障害を評価し、糖尿病自律神経障害との関係性を調べます。診療録からデータを収集します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター通院中の 2 型糖尿病の患者さんで、2024 年 11 月から 2025 年 3 月末までに DPN チェックと自律神経心電図検査を実施した 20 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	治療内容・DNP チェック、自律神経心電図、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　糖尿病・代謝・内分泌内科
		氏名	浮地里佳子
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2025 年 7 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター　糖尿病・代謝・内分泌内科 研究責任者：助教　浮地里佳子（うきち　りかこ） 窓口担当者：同上 電話番号：０３－３６０３－２１１１（内線）5979 対応時間：平日９：００　～　１７：００

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。